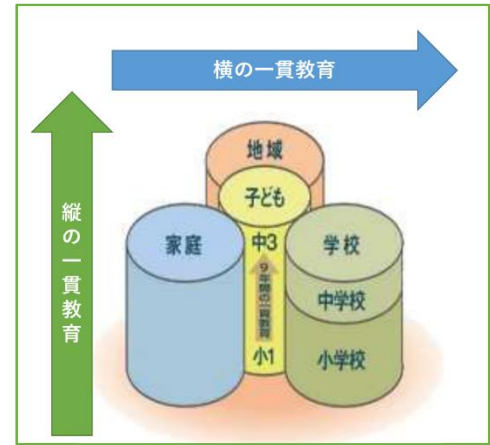


三次市の小中一貫教育

三次市は、平成23年度から、小学校・中学校の9年間をつないで指導を行う「小中一貫教育」に取り組んできました。同じ中学校区内の小・中学校が教育の目標やめざす子どもの姿を共有し、一人ひとりの子どもたちの能力や個性を豊かに伸ばし、学習意欲の喚起と学力向上に取り組み、成果を上げてきました。



展示ブースでは、今年度の各中学校区の実践を展示しています。

義務教育9年間の学びや育ちをつながりのあるものとしてとらえる「縦の一貫教育」によって、継続して子どもたちの育成にあたりるとともに、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育む「横の一貫教育」をより一層充実・発展させるため、各中学校区にコミュニティ・スクールを導入することとなりました。

コミュニティ・スクールとは

「コミュニティ・スクール」は学校の運営に地域の方が関わっている学校のことを言い、その組織を、「学校運営協議会」と言います。三次市では、中学校区ごとに一つの学校運営協議会を設置することをめざしています。現在、6つの中学校区がコミュニティ・スクールとなっています。

学校だけでなく、学校・家庭・地域が、子どもたちにどのような力を付けたいのかを共有することで、学校運営・支援、キャリア教育、地域貢献など、学校教育を充実させます。

また、コミュニティの創生、担い手の育成、子育て環境の充実など、様々な社会課題の解決にもつなげ、学校・家庭・地域が協働して、子どもたちを育みます。そして最終的には、

「人づくり」、
「まちづくり」
へとつなげていくことをめざしています。

展示ブースでは、4つの中学校区の実践を展示しています。

